

【河川協力団体の活動紹介】

『山形河川国道事務所管内』

河川協力団体名：美しい山形・最上川フォーラム

(H26.4.24指定)

★美しいやまがた クリーンアップキャンペーン

置賜～庄内地域の河川周辺のクリーン・アップ活動を実施しています。

どこに、どんなゴミが、どれくらい落ちているかを調査し、何が原因となっているかを考え、ゴミの減量化、不法投棄をさせない等の社会づくりを目指す取組を平成14年から継続的に実施しています。

平成29年8月～10月までの期間で、49団体、1,517名の方に参加いただいています。

★身近な川や水辺の健康診断

県内一斉に、各地域を流れる河川の水質やその水辺の環境を、簡単な水質調査キットを使用し調査を実施しています。これは、河川への関心を深め、水辺の環境保全等につなげていくことを目的に、平成14年から継続的に実施しています。

平成29年度は87団体、1,212名に参加いただき、259箇所で開催しました。

調査結果は最上川フォーラムのホームページや活動報告書で公表し、流域全体での情報共有や、地域ごとの課題解決のための材料として活用しています。



平成29年度活動報告書より

この他にも『美しい元気な山形づくり』として様々な活動を行っています！

【河川協力団体の活動紹介】

『酒田河川国道事務所管内』: 赤川水系赤川

河川協力団体名: 特定非営利活動法人 鶴岡淡水魚 夢童の会

(H26.4.24指定)

★赤川の自然環境学習

地域の小学生児童に、赤川に生息する魚類をはじめとした、生物についての環境学習を行っています。

赤川に遡上するサクラマスの子育てについて語りや、サクラマスの稚魚放流、カジカ捕り体験など、地域の児童への自然体験学習を積極的に行っています。



サクラマスの稚魚放流



カジカ捕りの様子

【河川協力団体の活動紹介】

『酒田河川国道事務所管内』:最上川水系最上川

河川協力団体名:株式会社 みなと

(H26.4.24指定)

★最上川右岸国際海岸 クリーンアップキャンペーン

最上川右岸河口付近のクリーンアップ活動を実施しています。

収集したゴミは、どこに、どんなゴミが、どれくらい落ちているかを種類ごとに分類調査し、何が原因となっているかを考え、ゴミの減量化、不法投棄をさせない等の社会づくりを目指す取組に役立てます。




回収したゴミと一緒に



分類調査の様子



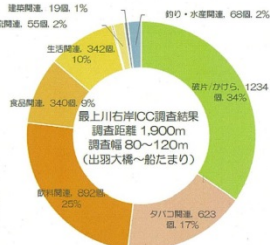
河川清掃の様子



株式会社 みなと・河川協力団体清掃活動
最上川右岸国際海岸クリーンアップキャンペーン (ICC) 調査結果まとめ

○国際海岸クリーンアップキャンペーンの概要
国際海岸クリーンアップキャンペーンは、1986年アメリカのNGO『オーシャン・コンサーバシシー』の呼びかけに応じてスタートしたグローバルな市民参加型の海洋・河川ごみ調査です。
調査結果に基づいて海洋ごみの現状を把握し、調査に参加することを通じてごみの問題及び海洋環境への関心を高めてもらうことを目的としています。日本では一般社団法人J E A Nがナショナルコーディネーターとなって普及と取りまとめを行っています。参加者が調査手法に慣れてきてデータの精度が上がったため、調査結果をJ E A Nへ報告することにしました。

○調査概要
日時 2017年 10月 21日 (土) 9:00~11:00
調査場所 最上川右岸 出羽大橋下流 1.9km
①出羽大橋一下瀬水位観測所 600m
②水位観測所一船溜まり 1300m
参加人数 60人



| 品目 | 個数 | 割合 |
|---------|------|-----|
| 破片/かけら | 1234 | 34% |
| タバコ関連 | 623 | 17% |
| 飲料関連 | 623 | 25% |
| 食品関連 | 340 | 9% |
| 生活関連 | 342 | 10% |
| その他 | 19 | 1% |
| 約り・水産関連 | 68 | 2% |

○調査結果
回収したサンプル数は、3,581個で昨年のサンプル数より増加しました。(2016年2,153個、2015年3,951個)一昨年並みに戻ったので、2016年度が第36回全国豊かな海づくり大会に関連した清掃活動が多数行われたため、特別に少なかったという見方もできます。
流出起源別の割合は右のグラフの通りです。破片、かけら類を除くと飲料関連が最も多く、全体の25%、(892個)を占めていました。次に多いのはタバコ関連623個(17%)、生活関連342個(10%)、食品関連340個(9%)と続きます。タバコ関連が17%(623個)と増加した要因としては、学協会利用者のポイ捨てごみが考えられます。学協会のかまどの周辺に吸い殻がままって散乱していました。上流から漂着するごみと違い、発生源が判明しているので利用者の意識の向上を呼び掛けることで改善の見込みがあります。
個別の品目をみると、破片、かけら類を除いた割合でペットボトル(10.7%、382本)と飲料缶(10%、357本)が多く、次に続く食品の包装・袋(3.2%)を大きく引き離しています。詳しくは調査結果の詳細をご覧ください。

参考
一般社団法人J E A N <http://www.jean.jp/>
美しいやまがたの海プラットフォーム <http://yamagatapf.info/>

平成29年度活動報告書より

【河川協力団体の活動紹介】

『酒田河川国道事務所管内』:最上川水系京田川

河川協力団体名:山形県ボート協会

(H27.3.2指定)

★京田川 クリーン運動

最上川支川の京田川をフィールドとして活動する、ボート競技の団体です。

毎日の練習で使用するほか、年4回ほど開かれる競技大会もあり、大会終了後には参加選手・役員で清掃活動を行っています。また、安全にボート競技ができるよう安全指導講習会も開催しています。

活動期間の4月から11月上旬までは、毎月1～2回河川敷の除草を行って、散歩などで利用される地域の方々にも気持ちよく使っていただけるよう心がけています。



清掃活動の様子



河川敷除草の様子



安全指導講習会

【河川協力団体の活動紹介】

『最上川ダム統合管理事務所管内』

河川協力団体名：最上川リバーツーリズムネットワーク

★ながい百秋湖遊覧

(H26.4.24指定)

ながい百秋湖(長井ダム湖)周辺は素晴らしい自然景観があり、特に上流部の三淵渓谷(みふちけいこく)をゴムボートによるツーリングを実施することで、ダムと市民をつなぐだけでなく、旅行者にも広く紹介されています。

この取組は、各種メディア等で紹介されており、多くの観光客の集客につながっており、地域の活性化に貢献しています。



★ウォーターインタープリター養成講座

長井市を流れる清流置賜野川の水源地域と、その自然環境を深く理解し、後世へ守り伝えていく「水の案内人」を育成する講座を開催しています。

これまで5回の開催で、地域づくりや水環境に興味がある36名が、野外活動に必要な座学や実習を経てウォーターインタープリターに認定され、様々な場面で活躍しています。

この他に自然環境保全や地域づくりなど様々な活動を行っています！



【河川協力団体の活動紹介】

『酒田河川国道事務所管内』: 赤川水系赤川

河川協力団体名: 特定非営利活動法人 パートナーシップオフィス

(H30.3.9指定)

★散乱ゴミの実態把握調査、啓発活動を行っています。

鶴岡市を流れ、酒田市で日本海に注ぐ赤川の河口をフィールドに、飲料用のペットボトルの種類別の個数調査を行っています。集計したデータは、山形県が行う海岸漂着物問題対策事業や、各種研修会、広報資料に役立てていく予定です。

